

# 第83回 医学教育セミナーとワークショップ in 関西医科大学

2022年10月28日(金)～29日(土)  
関西医科大学(枚方キャンパス)

セミナー 深く理解する授業のデザイン —「わかったつもり」を「わかった」へ—

**TL** 講師：森 朋子 (桐蔭横浜大学学長・教授)

WS-1 コロナ禍における医学生から研修医への移行を  
どのように支援するべきか？

**ML**

企画：林 幹雄 (関西医科大学)、磯部真倫 (新潟大学)、木村武司 (名古屋大学)  
長崎一哉 (水戸協同病院)、西澤俊紀 (聖路加国際病院)

WS-2 日本の全医学部において実現可能な  
医学英語教育の標準モデルを目指して

**CD**

企画：R.ブルーヘルマンズ・奥藤里香 (関西医科大学)、押味貴之 (国際医療福祉大学)

WS-3 問題付ICT臨床教材を作ってみよう

**A**

企画：松山 泰・浅田義和 (自治医科大学)、蓮沼直子 (広島大学)、林 松彦 (河北総合病院)  
三原 弘 (富山大学)、早稻田勝久 (愛知医科大学)

WS-4 模擬患者大交流勉強会

**ML**

企画：藤崎和彦・早川佳穂 (MEDC)、山田彩乃 (NPO法人ささえあい医療人権センター-COML)

WS-5 共用試験公的化後のスタンダードな医学教育とは？  
昭和大学の挑戦

**CD**

企画：泉 美貴・川原千香子・土屋静馬・古田厚子・鈴木慎太郎・内田嘉隆 (昭和大学)

WS-6 IR部門の望ましい規程とは？ —より良い規程をみんなで検討しよう—

**ML**

企画：日本医学教育学会 教育プログラム評価推進委員会

実施要項はこちら!!



10月28日(金)				
14:00-17:00		WS-1	WS-2	WS-3～
17:15-18:00	セミナー			
10月29日(土)				
9:00-12:00	WS-4	WS-5	WS-6	～WS-3

\* 記号 ( **TL** 等 ) は、アソシエイト認定のための学習領域を表しています。詳細は、MEDCサイトをご覧ください。

\* 各企画には定員を設けています。申込順にて受付いたしますので、ご了承ください。なお、当日参加は受付いたしません。

\* 今後の社会情勢によっては、開催形式が変更となる場合がございます。

参加登録期間

2022年10月3日(月)～13日(木)

第84回  
岐阜(Web)  
2023/1/26-28

第85回  
岐阜(Web) 併催  
第24回教務事務職員研修  
2023/5/24-26

第86回  
富山大  
2023/ 秋

医学教育共同利用拠点  
岐阜大学医学教育開発研究センター

TEL : 058-230-6470 FAX : 058-230-6468  
〒501-1194 岐阜市柳戸1番1  
E-mail : medc@gifu-u.ac.jp

MEDC

検索

## セミナー 深く理解する授業のデザイン —「わかったつもり」を「わかった」へ—

TL

講師： 森 朋子（桐蔭横浜大学学長・教授）

日時： 10月28日(金)17:15-18:00

概要： アクティブラーニングは、書いたり話したり等、思考の外化が伴うため、プレゼンテーション能力やコミュニケーション能力などの資質・能力の育成に効果があると思われがちです。しかし学習研究では、頭の中で浮かんで消える思考の断片を、順番を考えながら構造化し、言語化して人に理解できるように伝える、という行為により、自らの理解を深めていくことこそ効果を発揮すると考えます。授業においても、「わかったつもり」で留めてしまわずに、アクティブラーニングを通じて自らの理解の定着や思考の深さを追求することで、教育の生産性はもっと上がるはず。本講演では、より深い理解を促すための授業のデザインのコツについてお話いたします。

## WS-1 コロナ禍における医学生から研修医への移行を

### どのように支援するべきか？

ML

企画： 林 幹雄（関西医科大学）、磯部真倫（新潟大学）、木村武司（名古屋大学）、長崎一哉（水戸協同病院）  
西澤俊紀（聖路加国際病院）

日時： 10月28日(金)14:00-17:00

概要： コロナ禍になり、学生時に経験する現場での臨床実習が制限され、臨床における手技や患者とのコミュニケーションを十分に経験出来ていない研修医が増加傾向にある。また、コロナ禍における医学生から研修医への移行（トランジション）を考慮する際には、コロナ禍によって制限された臨床実習を経験した研修医の考えを理解し、これから現場に出る研修医に対して様々な配慮を行うことが求められる。このワークショップの目的は、厚生労働省より提供されている医師臨床研修指導ガイドライン（2020年度版）に触れながら、現場で指導を行う医療従事者さらには大学教員らとともに、コロナ禍で初期臨床研修を開始する研修医に求められる支援を模索することにある。医学生から研修医へのトランジションに関連する先行研究の紹介および多様な背景をもつファシリテーターによるグループワークを通じて、コロナ禍で初期臨床研修を開始する研修医とどのように関わっていくべきかという課題に参加者全員で取り組みたい。

対象： 大学教員、病院勤務医、保健医療福祉専門職

定員：20名

## WS-2 日本の全医学部において実現可能な

### 医学英語教育の標準モデルを目指して

CD

企画： R.ブルーヘルマンズ・奥藤里香（関西医科大学）、押味貴之（国際医療福祉大学）

日時： 10月28日(金)14:00-17:00

概要： 医学部における英語教育は、「医師が必要とする英語能力の習得」が大前提ですが、その教育内容や到達目標は統一されていないのが現状です。多くの医学部では、限られた教員数と時間数の中で、医師が必要とする英語能力を医学生に習得させる方法を独自に模索している状況です。その一方で、先進的な医学英語教育として「医学英語を学ぶ」のではなく「医学を英語で学ぶ」という内容言語統合型学習を採用し、1・2年時の全ての科目が完全に英語で行われている医学部もあります。本ワークショップでは、上記の先進的な教育プログラムや、2015年に日本医学英語教育学会により策定されたガイドラインを参考に、グループワークと全体討議を通して、医学生が卒業までに習得すべき英語スキルを確認し、その妨げとなる要因と解決策をまとめ、日本の全医学部において実現可能な医学英語教育の標準モデルに向けた第一歩となる案を作成します。

対象： 医学英語教育に携わる医学部教員、医学英語を含むカリキュラムの編成・改編に携わる方

定員：20名

## WS-3 問題付ICT臨床教材を作ってみよう

A

企画： 松山 泰・浅田義和（自治医科大学）、蓮沼直子（広島大学）、林 松彦（河北総合病院）  
三原 弘（富山大学）、早稲田勝久（愛知医科大学）

日時： 10月28日(金)14:00-17:00・10月29日(土)9:00-12:00

概要： 厚労科研費事業「ICTを利用した医学教育コンテンツの開発と活用に向けた研究」（代表：河北博文）では、卒前臨床実習から卒後臨床研修へとスムーズに移行させる目的でICTを活用した教材を開発している。医師国家試験改善検討部会の報告書には動画・音声付CBTが提案されている。ICT活用のメリットは臨床現場の動的な視聴覚情報（身体所見・検査所見等）を組み込むことができ、学習者の個々の学習到達レベルに対応した情報提示ができ、学習記録を電子情報で記録できる点である。

同事業では国家試験CBT化を念頭に問題付の教材としている。すなわち、問題はそのまま次世代CBT国家試験の臨床問題に転用でき、学習者の解答後に提示される正解と解説とは教材となる。本ワークショップの受講生はグループワークで各グループ最低1症例分の動画・音声付臨床教材を作る。作成の過程を通じて、動画撮影のポイント、臨床問題への応用のポイント、問題付教材へと発展させるポイントを理解できるようになる。

対象： 臨床教育に携わっている教員、指導者（医に限らず歯薬看護等他の医療職種も可）

定員：20名

## WS-4 模擬患者大交流勉強会

ML

企画： 藤崎和彦・早川佳穂（MEDC）、山田彩乃（NPO法人ささえあい医療人権センターCOML）

日時： 10月29日(土)9:00-12:00

概要： 模擬患者大交流勉強会は、これまで岐阜、東京、徳島、札幌、広島、千葉、沖縄、博多、埼玉、香川、兵庫、岡山、長野と全国各地で行われてきました。今回は新型コロナウイルス感染症への対応のためオンライン開催となりましたが、今回は大阪、関西医科大学にて久しぶりに対面で実施予定です。前半はグループで日頃の模擬患者活動を共有するなど、交流を深めていただきます。後半は模擬患者活動に役立つことを皆さんで学ぶことができる企画を準備しております。ぜひご参集いただき、交流を深めましょう。事前課題：日常の活動の中で、困っていることや悩んでいることなど、話し合いたい内容を考えてきてください。

対象： 模擬患者参加型教育にかかわる模擬患者、教員、指導者、学生、研修医、医療スタッフ

定員：40名

## WS-5 共用試験公的化後のスタンダードな医学教育とは？昭和大学の挑戦

CD

企画： 泉 美貴・川原千香子・土屋静馬・古田厚子・鈴木慎太郎・内田嘉隆（昭和大学）

日時： 10月29日(土)9:00-12:00

概要： 本ワークショップでは、「共用試験の公的化によりスチューデント・ドクター（SD）として診療参加型臨床実習（C.C.）を実施するためにはカリキュラムをどう改編すべきか？」という難題に対し、一例として昭和大学医学部の新カリキュラムを紹介し、参加者に自大学における発展的応用を考案してもらう。

昭和大学新カリキュラムのコンセプトは、①知識はオンデマンド講義により自主自学、②対面授業はアクティブ・ラーニング（AL）、③初年次から開始する臨床実習、である。ALは、基礎・臨床医学の最新トピックスを学生と議論する「ジョイント講義」、「シミュレーション教育」、医学雑誌の総説を作成する「ジャーナル・クリエーション」が目玉である。臨床実習では、1年次から医療面接や身体診察を学び、2年次から2年間は毎週1日1人で「全科臨床実習」を重ね、SDとして4年次から卒業まではC.C.に参加する。

参加者は、自大学における新カリキュラムを計画し共有する。

対象： 医学教育に興味や関心がある方どなたでも

定員：20名

## WS-6 IR部門の望ましい規程とは？ -より良い規程をみんなで検討しよう-

ML

企画： 日本医学教育学会 教育プログラム評価推進委員会

日時： 10月29日(土)9:00-12:00

概要： JACMEによる医学教育分野別評価が本邦に導入されたことを契機に、多くの医学部でInstitutional Research活動を担う部署（以下、IR部門）が立ち上げられた。しかし、急速に設置されたために、その業務内容や組織内の位置付けが十分に議論されないままにIR部門の規程が制定されたケースも多いと推測される。また、IR部門が本格的に始動していく中で、扱う教学データの範囲が広がり、新たにデータの管理・運用に関する規程を見直す必要が出てきたという場合も多いだろう。本ワークショップではIR部門の規程に関して、①IR部門が組織内で十分に機能するためにはどのような規程が必要か、②IR部門が安全に業務を遂行していくためにはデータ管理・運用に関してどのような規程が必要か、というテーマでグループワークを行う。そして参加者同士の議論を通して、IR部門の規程の制定・見直しに寄与する集合知を得ることを目標とする。

対象： 医療者教育分野でIR業務に携わっている方、関心のある方

定員：20名

### 医療者教育学の基本を教職協働で学ぶeラーニングプログラム

#### “医療者教育学スターキット”

★ 医療者教育機関で働き始めたばかりの教員、職員  
これから医療者教育学を学んでいきたいかたにむけた  
プログラムになっています。

🌙 新任の教員、事務職員にむけたFD/SDプログラム  
の1つとしてご利用いただけます。

スターキットは  
こちらから↓

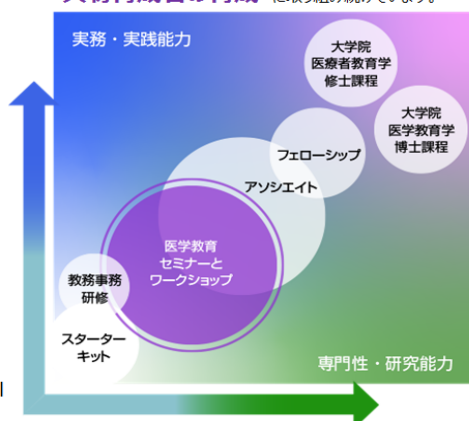


詳しくはMEDCのHPで↓

<https://www1.gifu-u.ac.jp/~medc/medicaleducation/starterkit.html>

### MEDCが提供する学びの道

全国の医療者教育に従事する人を対象として、  
“人材育成者の育成”に取り組んでいます。



# 参加登録方法

事前登録制です。インターネットからお申し込みください。  
「MEDC」で簡単検索できます。

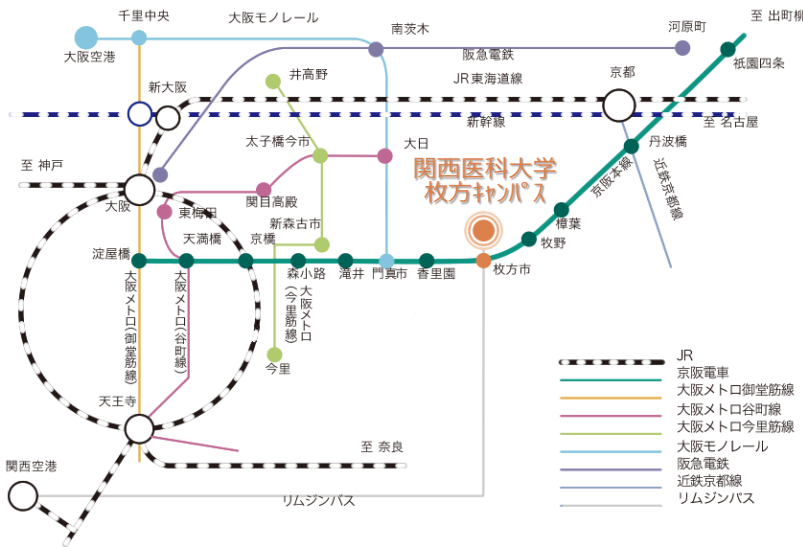
**参加登録期間：2022年10月3日(月)～13日(木)**

参加費：2,000円 学部学生無料

参加費は、資料ならびに報告書（新しい医学教育の流れ）の作成等に使用いたします

会場：関西医科大学 枚方キャンパス

(〒573-1010 大阪府枚方市新町2丁目5番1号)



大阪方面から	新大阪(新幹線)	大阪メトロ御堂筋線	淀屋橋	京阪本線	約20分		
	大阪	JR環状線	京橋	京阪本線	約15分		
京都方面から	京都(新幹線)	近鉄京都線	丹波橋	京阪本線	約20分		
神戸方面から	三ノ宮	JR神戸線	大阪	JR環状線	京橋	京阪本線	約15分
	奈良方面から	近鉄奈良	近鉄線	丹波橋	京阪本線	約20分	
大阪伊丹空港から	伊丹空港	大阪モノレール	門真市	京阪本線	約20分		
関西国際空港から	関西空港	リムジンバス			約85分		

京阪電車「枚方市」駅 枚方キャンパスまで徒歩約5分

枚方市  
本学園バス停に停車

